

平成25年度子どもゆめ基金体験の風リレーションシップ事業

## 体験活動スキルアップ研修会 ファシリテーション編②

平成25年12月14日(土)～15日(日)

### 1. 事業の目的(趣旨・ねらい)

自然体験活動を行っている施設職員関係者や教職員、団体が一堂に会し、自然体験活動の技術や知識を向上したり情報交換を行ったりし、青少年の自然体験活動のさらなる充実を図る。

今回の研修会では、体験学習の手法による人間関係作りに必要な手法や効果を体感する。また、グループの人間関係を構成して課題解決していくために欠かせないファシリテーションの基本を高めることを目指す。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

平成25年12月14日(土)～15日(日)

#### (2) 募集人員・対象

30名 ・施設職員 ・体験活動指導者 ・青少年団体関係者  
・教職員 ・施設ボランティア等

#### (3) 参加者

19名 教職員4名, 施設職員6名, 一般5名, 施設ボランティア3名, 大学生1名

#### (4) 講師

玉川大学 助教 村井 伸二

#### (5) 企画・運営のポイント

参加者が研修に何を求めているかを捉え、一人ひとりに充実した学びがあるようにした。また、研修中に参加者の学びの現況や要望を確認しながら、研修の内容に反映するようにした。

### 3. 活動の内容等

#### (1) 日程等

12/14 (土)		12/15 (日)	
時程	活動	時程	活動
9:30	受付	6:45	起床・洗顔
10:00	開会式	7:20	掃除
10:30	アイスブレイク	7:45	朝のつどい
12:00	昼食	8:00	朝食
13:00	課題解決活動①	9:00	課題解決活動②
17:20	夕べのつどい	12:00	昼食
17:35	夕食	13:00	まとめ
18:30	理論について	15:00	閉会式
20:30	入浴		
22:00	就寝		

#### (2) 活動の状況

1日目の午前中は、経験や立場、出身や現在の気持ちなどの個人情報ゲームを通して交換し合った。目標の共有場面では、自分の手形を紙にトレースし、その中に人と仲良くする上で自分が「大切にしていること」を書き込み、書いたことを互いに発表したり質問したりした。また、課題解決活動するとき「大切にしていること」を互いに尊重することを確認した。

午後からは、動きのある活動を取り入れながら、参加者の心をほぐしたり団結力を高めたりしていった。活動をしていく中で、長なわとびを全員で何回飛べるかを課題とし、目標を設定したり課題解決するためには何が大切なのかを考えたりしていった。また最後に「大切にしていること」が尊重できていたかも振り返った。

2日目は、課題解決活動②を行い、1日目で体験して学んだことをさらに深めた。午後からは、ペアになった相手やチームに体を預けるような活動を行い信頼することや信頼してもらうことを体験的に学んだ。

また、参加者の意見を取り入れて経験のある参加者から学ぶ場面を設定したりと参加型の研修スタイルを取り入れた。



[アイスブレイク：情報交換]



[課題解決活動①：ストレッチ]



[課題解決活動①：活動のふりかえり]

## 4. 成果・課題

### (1) 成果

経験や立場の違う参加者に対応できる場面を取り入れることで、どの参加者も高い満足度を持って研修を終えることができた。また、このシリーズに2回連続して参加した方からも高い評価を得た。

### (2) 参加者の声

- 事業全体に対する満足度 . . . 100%
- プログラムの満足 . . . 100%
- 事業運営の満足度 . . . 100%
- 職員の指導・助言の満足度 . . . 100%

#### {参加者自由記述}

- ・とても心地のよい2日間でした。
- ・講師の先生が良かったです。
- ・2日間ありがとうございました。とても充実した2日間でした。
- ・人間の関係性の成長を感じるというとても貴重な体験をしました。
- ・アクティビティに参加しながら、ゆったりとその流れを考えることができました。心だけでなく体などの変化に気づく大切さを感じました。
- ・教員のニーズを高めて仲間をふやしたいと思います。
- ・体験学習法の興味関心が高まりました。

### (3) 今後の課題等

募集人数に参加数が高まらなかった。岡山県を中心に県内外に、広く広報するのを感じていてうまく実行できなかった。メールやホームページ、チラシによる広報だけでなく関係諸機関と連携して広く広報する必要があることをさらに感じた。



[課題解決活動②：島わたり]



[まとめ：ヒューマンチェア]



[まとめ：学びの発表]

担当：企画指導専門職 飯石 浩二